

輸送動向について(平成20年度上半期分)

平成20年10月

1. 輸送概況

上半期は、東北地方北部において2度の地震が発生したほか、8月以降は全国各地での局地的な集中豪雨による輸送障害が続発し、上半期全体では高速貨601本、専貨20本が運休した。

荷動きは、梅雨明け以降の全国的な猛暑により、一時的に季節商品の出荷が強勢となったものの、輸送障害の影響を強く受けたほか、原油及び原材料価格の高騰を背景とした景気の減速感に伴う需要の減退も一部に見られ、低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物では、農産品・青果物が前年を下回ったものの、自動車部品、紙・パルプなどが前年を上回り、全体では前年比102.7%となった。(前年は7/16~9/13、新潟県中越沖地震)農産品・青果物は北海道地区の野菜類の出荷が好調であったものの、販売抑制による政府米の減送が影響し、全体では前年を下回った。一方、自動車部品は専用列車の増発により堅調な出荷となったほか、紙・パルプは一部工場の生産設備増強により増送となった。

車扱貨物では、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が前年を大きく下回り、全体では前年比88.6%となった。石油は4月の暫定税率の期限切れに伴い、一時的に需要が盛り上がったものの、全体では燃料転換の進展のほか、価格高騰に伴う消費の減少の影響を受け、大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	11,557	11,253	102.7%
車扱	5,039	5,686	88.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,018	1,023	-5	99.5%
	化学工業品	1,105	1,098	7	100.6%
	化学薬品	823	801	22	102.7%
	食料工業品	1,743	1,723	20	101.2%
	紙・パルプ	1,910	1,853	57	103.1%
	他工業品	896	832	64	107.7%
	積合せ貨物	1,211	1,209	2	100.2%
	自動車部品	438	367	71	119.3%
	家電・情報機器	213	195	18	109.2%
	エコ関連物資	185	178	7	103.9%
	その他	2,016	1,970	46	102.3%
	コンテナ計	11,557	11,253	304	102.7%
車扱	石油	3,168	3,520	-352	90.0%
	セメント・石灰石	739	719	20	102.8%
	車両	534	661	-127	80.8%
	その他	595	787	-192	75.6%
	車扱計	5,039	5,686	-647	88.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)